



夏休みスタート！

明日から夏休みが始まります。本年度は 41 日の休みとなります。夏休みといえば、プールや虫取り、家族旅行やバーベキュー、8/15 には弥生夏祭りもあり、いろいろなイベントが盛りたくさんあります。楽しい思い出をたくさん作ってくださいね。

さて、暑い夏を楽しく過ごすためにも、「やるべきこと」をしっかりとやり切っていくと、**せっかくの楽しいこともできなくなることも…**。夏休みは学校の授業はありませんが、それは「自分で学んでいこう!」という姿勢を身に着ける時間なのです。自分自身が机に向かい、自分自身が問題用紙(集)を開き、自分自身が問題を解いていかなければ、1つも前に進めません。「自分で自分を成長させる時間」なのです。

ですので、1日どれだけ進むのかも自分で決めていいのです。それが苦手な人は、おうちの人の力を借りても良いです。**このような姿勢は、すぐに身につくものではありません。当たり前に分ができるまで、頑張るしかない**のです。

41 日の夏休みの時間を有効に使って、様々な体験、自分の成長、いろいろなことに挑戦して楽しんでほしいと思います。2 学期始業式に、グッと成長したみんなの顔を見るのが楽しみです。

1 健康で、安全な夏休みにするために

「夏休みのくらし」(全家庭配布)をよく読んで、健康で安全な夏休みを過ごしてください。

(1) 早寝・早起きをし、**規則正しい生活**をしましょう。

(2) 「いか・の・お・す・し」を合言葉に安全な生活をしましょう。

- ・知らない人の誘いにのらない。一人で行動しない。人目のつかない寂しい所へ行かない。(ゲームセンターへ行きません。三田市のすべての小学校で指導しています。)
- ・「いつ・どこへ・だれと・何をしに行き・いつ帰る」を**家の人に伝えてから外出**しましょう。
- ・何かあったら防犯ベルの使用や周囲の人に助けを求めましょう。警察等へ連絡しましょう。
- ・携帯、スマートフォン、ゲーム機等の情報機器使用による被害防止に注意をしましょう。

(3) 交通事故防止、特に**自転車の正しい乗り方を守りましょう**。

- ①スピードを出さない。(乗る前のブレーキ等の安全点検を習慣化)
- ②交差点、道路横断時は必ず「一時停止、左右の安全確認、自転車を降りて横断」
- ③歩道は歩行者優先で、自転車は道路側をゆっくり走りましょう。
- ④**ヘルメットを着用**しましょう。

(4) 川や池など、水辺で遊ばない。(水辺の事故は例年増加しています。)また、建築現場、工事中の場所などには近づきません。

(5) 熱中症に気をつけましょう。

- ・こまめな水分補給・休息、帽子の着用、規則正しい生活等をお願いします。
- ・暑さ指数(WBGT)が31以上(「直ちに運動を中止」)になった場合、運動場では遊べません。【赤コーンが置いてある時】



2 自由研究・読書等に挑戦しよう！

(1) 自由研究に挑戦！

- ・やってみようと思うことや？と疑問に思うことなどについて調べる。
- ・実験・観察・工作などに挑戦
- ・夏休み作品募集に挑戦

(2) 読書に挑戦！

読書は知識を増やし豊かな心を育てます。読んだ本は読書通帳に記録しましょう。

(3) お手伝いに挑戦！

おふろ掃除、食器洗い、洗濯物をたたむ等、家族の一員としてお手伝いをしましょう。



～あゆみについて～

本日、お子様に 1 学期の通知表「あゆみ」をお渡ししました。一昨年度より、「あゆみ」の所見欄については、3 学期のみの表記とさせていただいておりますが、これまで通り、学んだ事についての、一人ひとりの頑張りや成果が記されていることに変わりありません。ぜひ、ご家庭でも、この「あゆみ」を活用して、お子様とともに 1 学期を振り返り、お子様の成長につなげてください。

その際、大切なことは「○」の数がどうか…という視点だけではなく、その子なりの「頑張りや良さを見つける」という視点で声かけをお願いします。得意なものをさらに伸ばすことによって自分に自信がつき、自尊感情も高まります。認められること、誉められる経験は、必ず意欲につながります。

この「あゆみ」は学期ごとにお渡ししますので、持ち帰りました「あゆみ」は新学期に提出の必要はありません。家庭にて大切に保管いただき、お子様との 2 学期、3 学期における頑張りや成長を確かめる指針として有効にご活用下さい。



2 学期の予定(8/28～9/8)

月日	曜	給食	行事予定・内容等
8/28	金	×	2 学期始業式 3 校時下校(11:45 下校)
8/31	月	×	3 校時下校(11:45 下校)
9/ 1	火	○	給食開始 4 校時下校(13:30 下校)
9/ 2	水	○	5 校時下校(14:30 下校)
9/ 3	木	○	5 校時下校(14:30 下校)
9/ 4	金	○	5 校時下校(14:30 下校)
9/ 7	月	○	学団朝会 一斉終会(14:15 下校)
9/ 8	火	○	人権参観日・講演会(14:30 下校)

つないでいく…（校長の独り言）

暑い夏がやって来ました。子どもたちにとっては海水浴や虫取り、お出かけなど様々なイベントがあって、楽しい夏休みです。元気いっぱい、笑顔いっぱいで楽しく有意義な日々を過ごしてほしいと思います。

この夏休みの期間には私たち日本人として後世に伝え、つないでいかなければならない日があります。8月6日、8月9日、8月15日。特にこの3日については忘れてはならない日です。1945年広島と長崎に原子爆弾が投下され、合わせて約20万人の人の命が一瞬のうちに亡くなってしまった日。そして終戦を迎えました日です。多くの人の命が犠牲になった太平洋戦争。もちろんこの日だけが悲惨なことが起こった訳ではありません。6月23日は沖縄地上戦の終結や12月8日の真珠湾攻撃など様々な日がありますが、この夏休みの期間にあるこの3日は、子どもたちに「平和」を考え、伝え、つないでいく日にしてほしいと思います。

私が小学生だった時、お盆に祖父の家に帰郷することがありました。無口な祖父と背が丸くなった祖母が二人で住む家でしたが、自分の家にはない鯉のいる池や足でこぎながら弾くオルガン、黒電話など小学生の私にとっては物珍しいものばかりで祖父の家の中をよく探検したものです。その中で特にではないが気になったのが仏壇でした。

そこには4歳ほどの女の子の写真と軍服をきた曾祖父の写真がありました。

毎朝、背を丸くした祖母がごはんを丸く盛った小さな仏飯器を供え、ろうそくに火をつけ、線香を香炉にあげて、チーン!とおりんを鳴らし、手を合わせていました。

日常にない祖母の行動に興味がわき、そばに行って祖母と同じように手を合わせ、目をつむりました。仏壇とは亡くなった人を弔うもの…と小さいながら理解し手を合わせていたのですが、祖母が上手に丸くご飯を盛っていることや香炉の灰は底までフカフカなのか?と、まったく先祖や曾祖父に対しての弔う気持ちがありませんでした。

その後、みんなで朝食を食べます。ご飯に茄子のお味噌汁、卵焼きにソーセージ…とごく一般的な朝食で、いつも同じでした。そしてほぼ食べ終わる頃に、「チーン!」とレンジの音が…こんがりと焼けた食パンが2枚目の前に出されるのです。

「えっ!?!」と兄と顔を見合わせる…「たんと食べや(たくさん食べてよ)」と笑顔の祖母。せっかく出してくれたので…と兄と無理やりパンを詰め込んだ。すると祖母は食卓から立ち上がり、またパンを焼こうとする。「あばあちゃん!もうお腹いっぱいだから、パンを焼かなくていいよ!」と兄が止めた。「遠慮せんでええで(遠慮しなくていいよ)」と祖母が言った。遠慮じゃなくて限界…

朝食が終わると歩いてすぐのところに「観音山」という小さい山があった。100段ほどの階段を上がると頂上の観音堂に着く。クヌギやカシの木があって、セミがジャンジャン鳴いているし、カブトムシやクワガタも採れる山だった。虫取り網と虫かごをもって、汗だくになりながら昼まで遊んだ。

祖父の家に帰り、冷たい麦茶を飲んだところに昼ごはん。そうめんではなく冷や麦が祖父のお気に入り。少し濃い目の出汁にゴマをすり、ねぎとショウガを入れて一気に麺をすすり上げる。そうめんよりも少し太い冷や麦は、もちもちとした触感で美味しい。大皿に乗った麺をどんどんと食べていたが、隣で兄がそわそわし始めた。



「?」何かを気にしているようだった。兄の視線の先には祖母がいた。兄は祖母がまたパンを焼くのではないかと気になっていたようだ。

案の定…祖母は食パンに手をかけた。「おばあちゃん!もうお腹いっぱいだからパンはいらないよ!」と兄が叫んだ。祖母は(あらそう?)という顔で、手に持っていたパンを置いた。(兄貴ナイス!)と心の中でつぶやいた。

実は、このような祖母の行動は1回だけではなかった。常に過剰に食事を用意してくれるのだ。

ある日、父に祖母のそのような行動について話した。父は特に驚いた様子も浮かべず、静かに答えた。

「そうか…そんなことしてたんやな。…あの仏壇にある写真の女の子…あの女の子はお父さんのお姉さんなんや。お父さんが生まれてすぐに、みんなのためにとってあまり食べずにいて、結局栄養失調で亡くなったんや。それが今もずーっと後悔しているんかな…だから、孫たちを飢えさせたくないって気持ちが働くんじゃないかな。」と、どこことなく寂しげに話をしてくれた。

何気に見ていたあの仏壇の女の子…祖母にとっては悔やんでも悔やみきれないつらく悲しい出来事…祖父も祖母も口数が少ない人だったので、そのような話をしてくれなかった…いや、話をしたくなかったのだろう。

祖母の名前は「歌(うた)」でした。その名前の通り、とっても歌が大好きで上手だったそうです。しかし、私は一度も祖母の歌声を聞いたことがありません。ちょうどカラオケが出始めた頃でしたが、祖母はいっこうに歌いませんでした。年のせい(?)だったかも知れませんが、歌を歌うときは、心が晴れやかになり、幸せな気持ちで満たされるものです。祖母は自分の娘を亡くしてしまったことで、心から歌えなくなってしまったのかもしれない。

楽しく食事をしたり、心から楽しく歌う…日常の当たり前の幸せ。それをすべて奪ってしまう戦争。私たち日本は「二度と」してはいけません。「二度と」戦争の飢えてわが子を亡くしてしまうことがあってはいけません。「二度と」命を武器に戦争をしてはいけません。

太平洋戦争中、大変な日々を過ごしていたのは戦場だけではなくありません。戦時中の話を掘り返せばいくらでもこのような悲しい出来事が出てきます。戦闘機による機銃掃射や焼夷弾による空襲などという攻撃だけでなく、食糧難や病気など様々なことで国民は苦しみました。歴史上の日8/6、8/9、8/15だけでなく、国民一人ひとりにとってつらく悲しい、子どもたちに伝えていく、伝えなければならない日があるはずです。この夏休みの1日のでいいので、「平和」を考え、伝え、つなげていく日を家族でもっていたきたいと思います。



また、暑い夏がやって来た。高い青い空に沸き立つ白い雲。祖母と過ごしたあの夏を思い出すと、どこか遠くで「チーン!」とレンジの音が聞こえてくる…戦後80年を生きる今。祖母の辛く悲しい思いを、「平和」の大切さを娘たちにつないでいかなければ…